

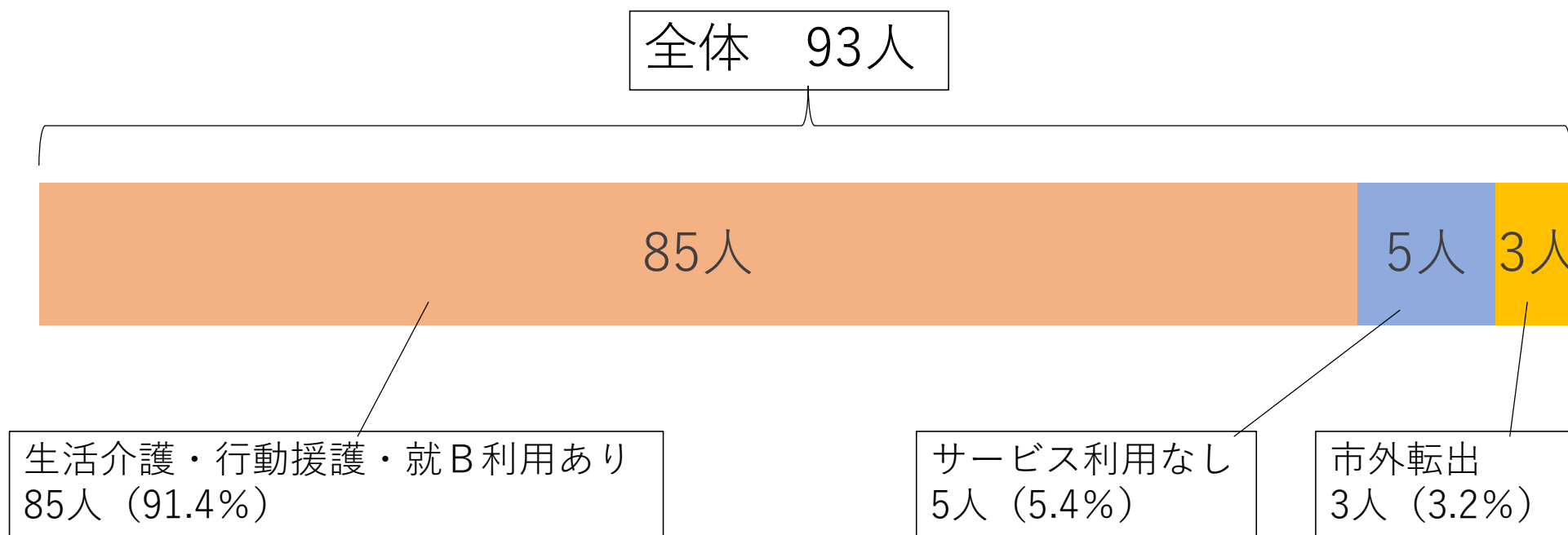
令和5年度 岐阜市障害者総合支援協議会
第7回専門部会（テーマ別分科会） 令和6年1月25日

強度行動障がいについて 現状と課題

「在宅で生活を送る強度行動障がいのある人の調査」より

岐阜市内の在宅で生活を送る強度行動障がいのある人 93人 (令和4年3月時点)

強度行動障がいのある人93人について、訪問系・日中活動系サービスの利用状況について調査（令和5年11月末時点）



訪問系・日中活動系サービス利用状況内訳
 (※重複利用あり)

	支給決定あり		
	利用実績あり		利用実績なし
	市内事業所	市外事業所	
生活介護	68人	19人	5人
行動援護	19人	1人	6人
就労継続支援B型	5人	0人	0人

利用人数が多い法人(市内) ※重複利用あり

生活介護

A法人：29.0%

B法人：10.1%

C法人：8.7%

・

・

・

行動援護

D法人：39.1%

E法人：21.7%

F法人：21.7%

・

・

・

障害福祉サービス、障害児通所支援、地域生活支援事業を実施する法人への調査項目：
サービス提供にあたり、課題など（自由記載）から抜粋

他者への影響

- ・ 他児・他者の安全確保ができず、被害が及ぶことがある

人材育成

- ・ 職員間の支援方法の検討不足（アセスメントが不十分）
- ・ 理解不足のため本人の潜在的な問題へ向き合うことが困難
- ・ 職員のスキル不足
- ・ 対応に追われ職員が疲弊する

体制・環境

- ・ 対応可能な職員が限定される（スーパーバイザーがいない）
- ・ 利用者の重度化・高齢化が進む中、強度行動障がい児・者の対応が困難
- ・ 基準人数での対応は困難
- ・ 環境設備の不足（個室や防音部屋の確保等）

家族

- ・ 家族と事業所の本人に対する理解や認識の差

「岐阜市における障害福祉サービス及び障害児通所支援等に関する調査」（令和5年9月～10月実施）より

相談支援事業を実施する法人への調査項目：
相談支援にあたり、課題など（自由記載）から抜粋

人材育成	<ul style="list-style-type: none">• 理解不足のため本人の潜在的な問題へ向き合うことが困難
体制・環境	<ul style="list-style-type: none">• 利用可能な事業所が少ない• 事業所のホームページでは受け入れ可能となっても、実際に受け入れてもらえない• サービス提供事業所が受け入れをしても、継続して支援ができない
家族	<ul style="list-style-type: none">• 家族の介護疲れ• 家族と事業所の本人に対する理解や認識の差